

新販売パートナー募集

「Asprova APS 新パートナー制度説明会」のお知らせ

2006年5月17日
アスプローバ株式会社
代表取締役 高橋邦芳

アスプローバ株式会社は、5月26日発売予定のAsprova APS Ver4.0の新パートナー制度を発足します。Asprova APSは従来の生産スケジューラーの概念をさらに拡張し、受注から製造・購買までの、長期・中期・短期の計画をサポートすることにより、製造業の生産・経営の全体最適を実現するツールです。(Asprova APSのプレスリリース情報については、次ページをご覧ください)

これまで、Asprovaの販売パートナーは、販売特約店だけでしたが、Asprova APS Ver4.0からは、販売特約店に加えて、販売パートナー、販売エージェント、SI(システムインテグレーション)パートナーの制度を開始します。

販売特約店は、販売・コンサルテーション・SIができる体制を整え、定常的に販売活動を行います。一定販売額を約束する代わりに、低い仕切り価格で製品を仕入れることができます。販売パートナーは、定常的には販売活動は行わないが、顧客への販売機会があるときに販売を行います。原則として、製品を販売特約店から仕入れます。販売額は約束しないものの、営業案件が発生したときに随時対応できる販売ルールを拡充しようとするものです。販売エージェントは、有望な見込み客を見つけてアスプローバ社または販売特約店に紹介します。製品デモや提案までは行いません。SIパートナーは、導入コンサルテーション、操作指導、追加プログラム開発を行うことができます。販売特約店や販売パートナーが、導入コンサルテーションやSIを他社に依頼したいという場合に、SIパートナーがSIを請け負います。

この販売パートナー制度により、商売のチャンスを逃がさず、適宜セールス活動を進めて頂くことにより、パートナー様共々に、Asprovaの事業拡大を図っていくことを目的に新たにこの制度を導入致します。

Asprova APSは、アスプローバ社が生産スケジューラー一筋12年以上の研究開発の結果誕生した、従来ない先進的な製造業ソリューションです。さらに、皆さまの販売力が加えることにより、製造業マーケットへの新しい突破口になると確信しております。どうぞ、皆さまのお力添えをお願い申し上げます。

新規販売パートナー様のための説明会を次頁のとおり開催いたしますので、万障お繰り合わせの上ご参加ください。東洋ビジネスエンジニアリング様のご協力にて、MCFrameの新規販売パートナー説明会も同時開催いたします。

日程

地区	日程	場所
東京	6月7日 13:30 から	東洋ビジネスエンジニアリング(株) 東京本社 セミナー室 東京都千代田区大手町 1-8-1 KDDI 大手町ビル http://www.to-be.co.jp/b-en-g/map.html
大阪	6月8日 13:30 から	新大阪丸ビル新館 4階 400号室 大阪市東淀川区東中島 1-18-27 http://www.japan-life.co.jp/jp/buil/sinkan/
名古屋	6月9日 13:30 から	ソフィテル・ザ・サイプレス名古屋 名古屋市中村区名駅 2-43-6 http://www.sofitelthecypress.com/

プログラム

No	内容	講師
1	Asprova APS 販売パートナー制度のご説明	アsproバ(株)
2	MCFrame 販売パートナー制度のご説明	東洋ビジネスエンジニアリング(株)

参加お申込み

以下にご記入の上、FAXにてお申込みください。または、メールにて info@asprova.com まで、必要事項をご記入の上、送信してください。

「Asprova APS新パートナー制度説明会」参加申込書

FAX 03-5498-7072 TEL 03-5498-7071

会社名・部署名	
電話番号	
代表者 e-mail	
参加者 (複数名記入可)	
参加日	6/7 東京 6/8 大阪 6/9 名古屋
参加プログラム	全部 1. Asprova APS 2. MCFrame
ご質問など	

アスプローバ、APS(Advanced Planning and Scheduling)

機能を強化した Asprova APS Ver4.0 を発売開始

APS(Advanced Planning and Scheduling)システム専門ベンダーであるアスプローバ株式会社(東京都品川区、社長:高橋邦芳)は、生産スケジューラーAsprova2003 Ver3.0を大幅に改良し、名称をAsprova APS Ver4.0に変更して、製造業対応の高度なプランニングとスケジューリングが実現できるパッケージソフトを出荷します。

これまでの生産スケジューラーとしてのAsprovaは、製造工程のみの短期スケジューリングにより、製造リードタイム短縮や仕掛在庫削減を実現するものでした。Asprova APSでは、この生産スケジューラーの機能をさらに拡張しました。Asprova APSは、まず中期のスケジューリングにより年度計画や生産準備を行い、それに連動して短期スケジューリングを行うという本来の計画業務により近い操作ができるようになりました。また、受注から製造・購買までをスケジュールすることにより、製品在庫削減、購買品在庫削減やトータルリードタイムの短縮を可能にします。

出荷するモジュールおよびオプション群は、以下の構成となります。

モジュール		機能					オプション(OP)						
		GU I 実 績	B O M 入 力	M R P	F C R	F C S	受 注	購 買	K P I 計 算	資 源 ロ ッ ク	重 な り M A X	イ ベ ン ト	最 適 化
Asprova APS	受注・製造・購買までスケジュール (Advanced Planning and Scheduler)												
Asprova MS	生産スケジューラー (Manufacturing Scheduler)												
Asprova LS	長期スケジューラー (Long-term Scheduler)												
Asprova MRP	所要量計算 (Material Requirement Planner)												
Asprova BOM	製造 BOM 入力 (Bill of Material)												
Asprova MES	作業指示・実績入力 (Manufacturing Execution System)												
Asprova KPI	KPI 計算、役員向け情報端末 (Key Performance Indicators)												

Asprova DS	データサーバ	複数のモジュールのデータを統合管理します
Asprova NLS	ネットワーク認証サーバ	ネットワーク上の PC からのログインを管理します

Asprova APS は、受注から製造、購買までの長期・中期・短期のスケジュールを作成する APS (Advanced Planning and Scheduling) システムです。Asprova APS は、Asprova MS, LS, MRP, BOM, MES モジュールと受注、購買オプションの機能をすべて包含しています。

Asprova MS は、有限能力スケジューリングを用いて、詳細なスケジューリングを行う生産スケジューラーです。

Asprova LS は、年間販売計画や顧客からの内示オーダーから生成した製造オーダーを入力し、長期スケジューリングを実行します。従来、長期スケジューリングは、MRP(資材所要量展開)処理により固定リードタイムで行う方法が行われていました。Asprova LS は、最新の手法である設備や人員負荷を考慮したタイムバケットのない有限能力ラフスケジューリングを搭載しております。有限能力ラフスケジューリングを用いて長期スケジューリングを実行することにより、より高い精度の購買計画や設備・人員の負荷計画が可能となります。

Asprova KPI は、Asprova LS の長期スケジューリングの結果から KPI(Key Performance Indicators:主要業績評価指標)を算出します。年度経営計画を策定するツールとして、例えば、年度要員計画、年度設備負荷計画、年度購買計画、年度売上・利益計画、設備投資計画に活用できます。このように長期計画を最適化することにより、従来の生産スケジューラーよりも大きな導入効果が期待できます。

Asprova MRP は、MRP 計算を非常に高速に処理します。長期スケジューリングには、Asprova LS を用いたほうが精度の高い結果が得られますが、製造 BOM 設定をより簡単に行って運用を開始したい場合、スケジュールよりも所要量計算の結果を必要とされている場合には、Asprova MRP をご活用ください。

Asprova MES は、従来、計画モニターと言われていたもので、製造現場などでガントチャートを表示します。今回新たに、製造実績入力が可能となりました。

Asprova BOM は、製造 BOM を入力する端末です。Asprova の製造 BOM の特徴的な機能は、パラメトリック BOM とスキルマップ(星取表)です。パラメトリック BOM は、製造 BOM の中に条件式や数式を登録することにより、1 つの製造 BOM の登録で複数の製品を定義することが可能となります。また、オーダーにオプション(例えば、色、仕向地、付属品有無)の指定がある場合でも、条件式や数式などを登録することにより、1 つの製造 BOM の登録で、すべてのオプションのバリエーションを定義することもできます。条件式や数式の登録は、Microsoft Excel のようにセルに登録します。従来は、プラグインなどのプログラミングが必要なケースでも、その場で式を登録するだけで、個々の問題を即解決することができます。その結果、製造 BOM の登録データ量も大幅に削減できます。スキルマップは、各作業員のスキルをマトリクス状に登録して、それをスケジューリングに反映させます。従来は製造 BOM の登録の中で各作業員の各作業の可能・不可能の登録をしていましたが、スキルマップを用いてマトリクス状に登録することにより、作業員のスキルに関する製造 BOM の登録とメンテナンスが非常に簡単になり、登録データ量も大幅に削減できます。登録された製造 BOM は、Asprova LS, Asprova MRP, Asprova MS のどれにも用いることができ、長期スケジューリングと短期スケジューリングの製造 BOM 情報を一元化できます。

Asprova DS は、各モジュールのデータを統合化させます。従来の Asprova は、スタンドアロンシステムで複数端末のデータ連携ができませんでした。各担当者が自分のパソコンを用いて業務を実施しながら、Asprova DS がデータを統合させます。これにより、長期スケジュールの担当者は、Asprova LS を使い、短期スケジュールの担当者は Asprova MS を使い、製造 BOM の管理者は Asprova BOM を別々に用いて、しかもデータを統合させることができます。

Asprova NLS は、ネットワーク上のパソコンを管理して、同時使用ユーザ数のライセンスを管理します。Asprova LS の使用者が自分の机のパソコンではなくて、別の部屋のパソコンからでも、ユーザ ID とパスワードを入力することにより Asprova の各モジュールを使用することができます。同一企業内であれば、例えば、別の工場に出張中でも自分の工場のスケジュールを別の工場のパソコンから操作できます。

受注オプションは、受注オーダー(出荷レベルのオーダー)を製品在庫にひも付けたり、製品在庫が不足したら自動的に製造オーダーを補充して、受注オーダーにひも付けたりします。受注オーダーのロットサイズにかかわらず、指定されたルールで製造オーダーのロットサイズが決まります。製造オーダーの期間まとめも可能です。特に今回の追加機能の特徴は、月単位や日単位の販売予測や顧客からの内示オーダーを受注予定表(部品納入内示表)として入力し、それを日割り分割処理をして平準化生産のための受注オーダーを自動生成することにより、長期スケジュールのためのデータを生成することです。また、確定オーダーを登録すれば、内示オーダーの代わりに確定オーダーをひも付けて、内示と確定のずれの調整が可能となります。自動車部品生産への対応機能として、出荷便レベルのひも付けも行い、時分レベルで出荷を監視できます。

購買オプションは、製造オーダーや受注オーダーから必要な購買品の購買オーダーを自動生成して、購買リードタイムをスケジュールし

ます。結果として、購買予定表を出力します。製造オーダーのロットサイズにかかわらず、指定されたルールで購買オーダーのロットサイズが決まります。購買オーダーの期間まとめも可能です。購買予定表の先々の部分は、サプライヤーに提供する購買内示データとなります。また、近々の部分は、サプライヤーに提供する購買確定データとなります。このように、受注の内示・確定データを取込むと共に、そのデータを利用して長期スケジュールを作成し、その結果として購買先に対する、購買内示・購買確定データを自動作成します。

以上